



小林鷹之こばやし たか ゆきからの手紙

Vol.69

衆議院議員
小林鷹之
国政報告

討議資料

自民党千葉二区支部
小林鷹之事務所発行
(千葉市花見川区・八千代市)

自民党政調会長就任会見



国民の皆様には、わが国をリードする国にしたいという政治を目指して全力で取り組みます。

経済対策については総理指示の直後に、党としての政策のとりまとめを各部長に指示すると同時に地方の声を反映するために全国政調会長会議（オンライン）を開催しました。

高市政権が発足し、私は自民党の政務調査会長（政調会長）を拝命しました。

「政調会長」は、一言で言えば、党の政策立案の司令塔です。まずは、当選4～5回が慣例とされてきた部長を実績、意欲、能力本位で当選2～3回の議員も積極登用する人事を行いました。私が率いる政務調査会の方針は、「オープン」、「スピード」、「発信力」。政調会長による週1回の定例記者会見の実施を決め、各議体の責任者に能動的な発信を要請しました。

自民党政務調査会会長に就任



高市総裁と



自民維新協議後のぶら下がり

国会活動



自衛隊殉職隊員追悼



ガン・キムヨン
シンガポール副首相兼貿易産業大臣



羽田空港入管視察



台湾民進党青年局の皆様



国会見学



保育園視察

「明日の日」



講演会も多数お招き頂いています



自由民主党



地元ではリラックスして楽しんでいます。



高校野球応援



かき氷作っています



スイカ割りに挑戦



地元運動会で激走

自民党の党員になりませんか

自由民主党 党員募集

党員になって、小林鷹之と共に日本を世界をリードする国にしましょう

- 入党すると、あなたも自民党総裁選で投票することができます。
- 総裁選挙の前2年継続して党費を納めた党員の方は、総裁選挙の有権者になります。

お申込み、お問い合わせは、電話（地元事務所）、メールまたはホームページからお願いします。

地元事務所
〒276-0033
千葉県八千代市八千代台南1-3-3 山萬八千代台ビル1階
TEL047-409-5842 FAX047-409-5843

国会事務所
〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館417号室
TEL03-3508-7617 FAX03-3508-3997

HP
kobayashi-takayuki.jp
info@kobayashi-takayuki.jp
x.com/kobahawk
www.facebook.com/hawk.kobayashi

自由民主党政務調査会会長 衆議院議員 小林鷹之（こばやし たかゆき） Profile

選挙区：千葉県第二選挙区（千葉市花見川区、八千代市）

内閣
経済安全保障担当大臣
内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙）
防衛大臣政務官

衆議院
財務金融委員会 筆頭理事

自由民主党
日・グローバルサウス連携本部 本部長
経済安全保障推進本部 本部長
知的財産戦略調査会 会長
日本電信電話株式会社等に関する法律の在り方に関する特命委員会 委員長
インフラシステム輸出総合戦略特別委員会 委員長代行
科学技術・イノベーション戦略調査会 会長代理
税制調査会 幹事 等

略歴
1999年（平成11年） 東京大学法学部卒業
大蔵省入省
2003年（平成15年） ハーバード大学ケネディ行政大学院修了
2007年（平成19年） 在アメリカ合衆国日本国大使館書記官
2012年（平成24年） 第46回衆議院議員総選挙 初当選（現在5期）
2016年（平成28年） 第3次安倍第2次改造内閣 防衛大臣政務官
2021年（令和3年） 経済安全保障担当大臣
内閣府特命担当大臣（科学技術・宇宙）
2025年（令和7年） 自由民主党政務調査会会長



高市新総裁誕生



チーム・コバタカの皆さん ありがとうございます



いざ決戦へ



決起大会開催



秋葉原演説



出馬会見

総裁選



総裁、副総裁、党四役



中継でのテレビ出演



政調会長会見を定例に



小野寺前政調会長から引継ぎ

自由民主党政務調査会長に就任



初役員会

自民党総裁選挙を振り返って

10月4日に決選投票の結果、立党70年目にして自民党初の女性総裁が、そして10月21日の首班指名では、わが国初の女性総理が誕生しました。日本維新の会の閣外協力を通じた自民・維新の連立政権となりました。

私自身の総裁選の結果は、立候補者5人中4位（議員票44票、党員票15票）。同僚議員はじめ多くの方々のサポートを得ての選挙戦でしたが、知名度、閣僚や党役員等の経験不足が指摘され応援して下さった皆様のご期待に応えることができませんでした。真摯に受け止め、研鑽を積みみます。

【立候補の動機】

「世界をリードする日本をつくる」。
このビジョンを掲げて昨年の総裁選に挑戦しました。あれから一年。全国に足を運び、肌で感じたこと。それは、
「頑張ってるのに、暮らしが楽にならないよ！」
現役世代が抱える「不安」や「諦め」の声でした。

昨秋の突如の解散・総選挙で自民党（石破政権）は過半数割れ、更に、東京都議選、参院選でも大敗を喫しました。当然、政治は停滞し、適時適切な経済政策でその声に応えることもできませんでした。加えて、「外交は内政」です。国内の政権基盤が弱けれ

ば強い外交力は発揮できません。

日本の将来に対する危機感と焦燥感は一層と強くなり、「今回の総裁選は、もしかすると自民党としての最後の総裁選になるかもしれない」と本気で思ったのも事実です。この私の危機感を共有してくれる同志や先輩議員がいたからこそ、厳しい戦いになることは認識しながらも、党と国の未来を切り拓くため挑戦する覚悟を固めました。

【総裁選で訴えたこと】

自民党への信頼回復の道筋は容易ではありません。党運営のスピード、透明性、発信力を格段に上げていく必要があります。

原動力になるのは、私は、「若い力」と考えました。当選回数や年齢といった形式的なこと、旧派閥の順送り人事といった旧弊とは決別し、能力と実績に応じた活力ある人事で党や国の運営のあり方を抜本的に変えていく。当初、党内での反発も考え躊躇しましたが、あえて「世代交代」という言葉を使いました。年齢で区別する意図はありません。ただ私は、私自身を含む中堅・若手世代の議員が、「我々が国を変えるんだ。未来を作るのは我々なんだ。」その強い自覚を持つことが大切だと考えました。

私が訴えた主な政策は、①力強く成長する日本を創ること、②自らの手で守り抜く国③食料安全保障、④低炭素へ舵をきるエネルギー安全保障、⑤拉致問題、⑥憲法改正です。



特に経済。短期的には、社会の中核を担う現役世代・中間層を所得税制や社会保険料の負担軽減で重点的に支援すべきだと考えました。彼らが「頑張れば報われる」、そう確信すれば、次なる成長につながります。経済が強くなれば、税収が増え、財政も社会保障も強くなり、結果として、全ての世代に裨益するのです。

総裁選中には、「負担能力のある」高齢者の方々には、窓口負担や保険料について「更なるご負担をいただきたい」と若い世代のためにお願いしました。反発される方も少なからずいらつしやったと思います。ただ、東京や名古屋での演説会場で、そのメッセージを発した際に、ご年配の方々からご声援や拍手を多くいただいたのも事実です。心から感謝申し上げます。

そして、資源のないわが国では、科学技術こそが成長の源です。もう一度、日本を「テクノロジー大国」に押し上げます。技術を起点に、強い経済を作る。技術と経済があれば防衛力が高まる。経済力と防衛力が裏付けとなつて外交力が上がる。そうすれば、国益にかなうルールづくりが可能となつて、さらに経済が強くなる。経済、防衛、外交、経済。この循環をグングン回していく。

そのために、国も大胆に投資します。世界と勝負できる産業の拠点を全国各地につくる、いわば「令和の殖産興業」です。半導体が先に走っています。今、熊本や北海道では、企業が集積し、雇用が増え、賃金



が上がり、そして、挑戦する若者も集まってきたいます。情報通信、エネルギー、宇宙、素材、スマート農業。こうした戦略産業に国も大胆に投資することで、日本を「芯から」元気にする。

【最後に】

政治家だけが躍ったところで世の中は変わりません。「民は水なり」
国家という舟は、国民の信頼あつてこそ浮かびます。信頼を失えば覆ります。国民の皆さんが、安心と希望を手にすること、社会は支えられ、もつと強くなる。その社会からは更なる希望が生まれます。

「ニッポンの力は、こんなもんじゃない！」強い経済を取り戻し、子ども達が大きくなつた時に、「どうだ、ニッポンですごいだろ！」と世界に対して胸を張れる国を創ります。そして、全世代の国民が、再び夢や希望のもてる国を創ってまいります。

令和七年十一月吉日

自由民主党政務調査会長

衆議院議員 小林鷹之